



BAYERISCHES STAATSORCHESTER
SEIT 1523



©Nikolaj Lund

ウラディーミル・ユロフスキ 指揮 バイエルン国立管弦楽団



ウラディーミル・ユロフスキ
(音楽総監督・指揮)

Vladimir Jurowski (General Music Director)
Bayerisches Staatsorchester
Bruce Liu (Piano)

2025年9月26日(金) 19:00開演 (18:20開場)

サントリーホール

東京メトロ「有楽町線山王駅」13番出口徒歩10分
東京メトロ「六本木一丁目駅」徒歩5分

7:00 p.m., Friday, September 26, 2025 at Suntory Hall

モーツァルト：交響曲第32番 ト長調 K.318

MOZART: Symphony No. 32 in G Major, K. 318

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 (ピアノ：ブルース・リウ)

MOZART: Piano Concerto No.23 in A Major, K.488

R. シュトラウス：ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯

R. STRAUSS: Till Eulenspiegels lustige Streiche, Op. 28

R. シュトラウス：組曲「ばらの騎士」

R. STRAUSS: Der Rosenkavalier Suite, Op. 59

9月27日(土)

13:30開演 (12:50開場)

ミューザ川崎シンフォニーホール

JR「川崎駅」中央西口直結徒歩3分
京急「川崎駅」中央口改札徒歩8分

1:30 p.m., Saturday, September 27, 2025 at MUZA Kawasaki Symphony Hall

ワーグナー：歌劇「タンホイザー」より 序曲

R. WAGNER: "Tannhäuser" Overture WWV70

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 (ピアノ：ブルース・リウ)

MOZART: Piano Concerto No.23 in A Major, K.488

ブルックナー：交響曲第4番 変ホ長調 「ロマンティック」 WAB104

第2稿(1878/80)、新ブルックナー全集(コレストヴェット校訂版)

BRUCKNER: Symphony No.4 E Flat Major "Romantic" WAB104

2. Fassung 1878/80 Neuauflage (Benjamin Korstvedt edition)

©Wilfried Hoesl



ブルース・リウ
(ピアノ)

©Sorja Mueller

席種・料金(共通)

S席/¥29,000 A席/¥25,000 B席/¥20,000
C席/¥14,000 D席/¥9,000

※料金には消費税が含まれております。

※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

好評発売中

お申込み

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 suntory.jp/HALL/ (9/26のみ)

ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター 044-520-0200 muza.pia.jp/ (9/27のみ)

神奈川芸術協会045-453-5080 (9/27のみ) チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 294-091]

イープラス eplus.jp ローソンチケット l-tike.com [コード 33254]

主催：ジャパン・アーツ 後援：ドイツ連邦共和国大使館



劇場・音楽堂等における子供舞台芸術
鑑賞体験支援事業(東京のみ)

名門バイエルン国立歌劇場の500年を越える伝統と ユロフスキの精緻な指揮による、こだわりのプログラムー 待望の9年ぶりの来日

ウラディーミル・ユロフスキは、ベルリン放送交響楽団の首席指揮者に加えて、2021年からはバイエルン国立歌劇場の音楽総監督を務めている。ベルリンとミュンヘンというドイツを代表する音楽都市で、シンフォニーとオペラの両方で活躍を続ける。まさに大車輪の活躍ぶりだ。

そんなユロフスキは、現代屈指の知性派の指揮者でもある。音楽をただの娯楽ととらえず、コンサートでもオペラでも、常に社会における位置付けを見出そうとする。「ミュンヘンで驚くべきは、バイエルン国立管弦楽団が500年という途方もない伝統を持つにもかかわらず、オープンさが保たれていることです。ミュンヘンが保守的だというステレオタイプは間違っています」と語るユロフスキは、バイエルンの州都の音楽シーンに新しい風を吹かせてきた。

今回日本で披露するのは、思わず笑みがこぼれてしまうプログラムだ。シンフォニーコンサートでありながら、宮廷歌劇場の座付きのオーケストラとしての伝統が遺憾なく発揮される演目ばかり。モーツァルトやワーグナー、R・シュトラウスの曲からは、作曲家自身と直接のつながりを持った楽団ならではの香気が漂ってくるだろう。そこにスターピアニスト、ブルース・リウのピアノがどう溶け合うか。ユロフスキのことだけに、ブルックナーも通り一遍の解釈にはならないはず。何層にも楽しめるこのコンビならではのプログラムをご堪能いただきたい。

中村真人 (音楽ジャーナリスト/ベルリン在住)



ウラディーミル・ユロフスキ (指揮)
Vladimir Jurowski, conductor

©Wilfried Hoesl



ブルース・リウ (ピアノ)
Bruce Liu, Piano

©Christoph Koestlin

1995年、ウェックスフォード・オペラ・フェスティバルでニコライ・リムスキー=コルサコフの『五月の夜』を指揮し、国際的にデビュー。2007年からロンドン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を務め、2021年に名誉指揮者に就任。2017年からはベルリン放送交響楽団(RSB)の首席指揮者兼芸術監督も務めている。これまでに、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、アムステルダム・ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、シュターツカペレ・ドレスデン、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団などのオーケストラと共演してきた。バイエルン国立歌劇場では、セルゲイ・プロコフィエフの交響曲第3番などを取り上げた2015/16シーズンのアカデミー・コンサートでデビューし、同作曲家のオペラ『炎の天使』の新演出を指揮した。さらに、2020/21シーズンに『ばらの騎士』の新演出を指揮。2021年秋からはバイエルン国立歌劇場の音楽総監督を務め、一連のアカデミー・コンサートを指揮した。2024年、国王チャールズ3世により名誉大英勲章騎士団勲章が授与された。

2021年第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール優勝。

2024/25年シーズンは、ルクセンブルク・フィルとグスターボ・ヒメノ、ロンドン響とサー・アントニオ・パッパーノ、フランクフルト放響とアラン・アルティノグル、ウィーン響とマリー・ジャコ、ロッテルダム・フィルとラ・ハフ・シャニなどと共演。これまでに、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、フィラデルフィア管、NHK響などの主要オーケストラと、ライオン・バンクロフト、チョン・ミョンフン、バーヴォ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイーゼ、ヤニック・ネゼ=セガン、ジャンドレ・ノセダなど著名な指揮者と共演。

ドイツ・グラモフォンの専属レコーディング・アーティスト。



©Nikolaj Lund

バイエルン国立管弦楽団 Bavarian State Orchestra

2023年に創立500周年を迎えた、世界でも有数の歴史と伝統のある楽団である。バイエルン国立歌劇場を拠点に、団員144人がオーケストラピットとコンサートで演奏活動を行っている。2024年には「オーパン・ヴェルト」誌の批評家アンケートにて、10回連続・通算12回目の「オーケストラ・オブ・ザ・イヤー」に選出された。

1811年に宮廷楽団のメンバーたちが音楽アカデミーを設立し、ミュンヘン初の公開コンサートシリーズであるアカデミー・コンサートを開始。以来、今日に至るまで、音楽アカデミーの活動はミュンヘンとバイエルン州の音楽文化を牽引してきた。

同団は、モーツァルトの『イドメネオ』、ワーグナーの『トリスタンとイゾルデ』をはじめとした同作曲家の主要作品を初演。また、レーヴィ、R.シュトラウス、モットル、ワルター、クナッパertzブッシュから、ショルティ、カイルベルト、サヴァリッシュ、メータ、ケント・ナガノ、K.ペトレニコという当代を代表する音楽家が首席指揮者としてオーケストラを率いてきた。さらに、クライバーとも深い親交があった。2021-22シーズンより、ユロフスキがバイエルン国立管弦楽団の音楽総監督に就任。

<特別割引チケットのお知らせ>

ジャパン・アーツびあにて受付、川崎公演は神奈川芸術協会でも受付。

◎シニア・チケット：公演日当日に65歳以上の方は\$¥28,000にてお求めいただけます。

◎車椅子席は、一般発売日以降にジャパン・アーツびあコールセンターへ問合せください。

<次のことあらかじめ承知の上、チケットをお求めください。>

①やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

X (旧Twitter)でフォローする
X@japan_arts